一人ひとりに合った最良のブレストケアを

博愛会における乳がん診断のワークフロー　～最先端の医療機器を活用して～

社会医療法人 博愛会
相良病院
SAGARA WOMEN'S HEALTHCARE GROUP

3Dマンモグラフィと
エラストグラフィ超音波装置
による併用検査

MRI検査
遺伝性の疑いがある場合

組織診／細胞診
- 超音波組織診
- Tomoバイオプシー組織診
- MRIガイド下組織診

MR-PETによる全身撮像
乳がんの広がりと転移の有無を調べる

検診 人間ドック → **乳がんの疑い** → **病理検査** / **精密検査** → **確定診断** → **MR-PETによる術前検査** → **治療方針の決定** → **手術 / 治療** → **術後検査 フォローアップ**

- 異常なし
- 定期検診

MRIによる精密検査
（遺伝性の疑いがある場合も）

CTによる精密検査
（MRIが適さない場合）

検査のための先端的な医療機器

3Dマンモグラフィ検査

乳房専用のX線撮影検査です。被ばく線量を低減したうえ、乳房の形状に沿ってしなるソフト圧迫板を使用。一人ひとりの乳房に合わせた最適な圧迫で検査を行います。

乳房超音波検査

乳房に超音波をあて、乳腺内のしこりなどを調べます。X線被ばくがないので妊婦の方も安心して検査を受けられます。マンモグラフィとの併用で、安全で検出率の高い検査が期待できます。

MR-PET検査

乳がんと正常な乳腺組織の識別に適しているため、遺伝性の疑いがある場合や精密検査で使用します。造影剤を使用することもあります。女性医療では当院だけにしかない装置です。(2020年7月現在)

CT検査

術後に転移や再発がないかを確認するために行います。また、ペースメーカーなどを使用されている患者さんはMRI検査ができないため、術前に被ばく線量を抑えたCT装置で検査を行います。

画像提供：シーメンスヘルスケア株式会社